

刊日夕月四三



休日 日曜祭日
一ヶ月 日曜祭日
郵税十五錢一部二錢
廣告料 一行四〇錢
場所指定廿錢増
發行所 平野新聞社
編集者 谷政人
印刷所 新井印刷社
新井印刷社

生糸市況の好轉で 養蠶家にも活氣づく

形勢觀望の持合ひから
上値向き先行も樂觀さる

養蠶立期に近づいて來た石城地方は上海動亂による生糸暴落の影響を不安視されてゐたが日支紛争問題は漸く好轉の情勢をもちたされ形勢觀望を以て持合ひの姿であつた六百四十圓の生糸は若干ながら上向きの機運を迎ひ不安氣を拂はれつゝあるので平町片倉製糸工場の如き一層晴れやかな氣分で繰繰されてゐる

三月一日現在 郡下在米高

一〇萬六千二百五十石

平穀物検査所で調査した石城郡に於ける三月一日在米高は地主 一五、六五一、生産者 七九、七五〇、公共團體 三、一八〇、商人 一〇、五六〇、合計一〇六、二五九石で之によれば一般農家の持米が最も多く之は米價先高を見越した農家が何れも賣り惜しみをしつゝある結果である

豫算決算 委員附託

昨日休會明け町會
平町の豫算町會は昨報の如く

△決算委員、花澤、佐藤、荒川、(淺)根木、齋藤、馬目

遺骨歸る

八日前平野澤
去る五日上海の激戦で名譽の戦死をとげた飯野村出身山崎伍長、山田村出身、安島上等兵兩氏の遺骨は八日前十時

苦にされた新街路 博覽會で大修理

延長六百間に數千圓を
投じて不陸直砂利敷

赤井村の 豫算村會

總額三萬五千圓
石城郡赤井村では去月二十九日昭和七年度豫算の村會を招集し新豫算の調査中であつた

神佛兩壇 安置して

場員に敬神崇
祖の念を養ふ

平町の片倉製糸工場では場員に敬神崇祖の念を養ふべく講堂正面の右側に此程數百圓を投じて金色燦爛の佛壇を備へて

河川改修 促進陳情

瀬川筋部落民から
植田町大字植田、大字佐藤地

女子青年團が 禁酒禁煙勵行

具體案を練つて積極的活動
平町を中心の第三方面女子青年團では過般の總集會に於て禁酒禁煙勵行の決議をなした

不審死

實は病死と判る
赤井村大字赤井字沼作五飯塚新五郎(三)が四日前八時ごろ自宅座敷で不審死を遂げてゐるのを經て妻はなが發見

海軍兵合格者 四十三名

二百名は不合格
平野管内に於ける七年度海軍志願兵検査は去る一日から三日間平野第三小學校で執行され

中野正剛氏等の 満蒙座談會 (三)

荒川氏の遺筆
其の中には極左傾もあれば中もあり右もある、種々な分子を有つて殊に危険な思想を有つて居る者を含んで居る黨部が指導監督をして居るのであることは釋かに説法であります

個人所得並に乙種資本利子 及營業純益申告に當りて

一 平稅務署
一休不正直の肩をなして税金が安くなる事は絶体に無いと思ひます、万が一安くなつたと云ふ方がありましたら國家から税金を納むものでありますと同時に他の正直なる人に對して非常なる迷惑をかくるものと云ふ一種の罪惡を犯すものとなるのでせう

敢て名譽の爲めにも納稅義務者の方の道義心に訴へる次第であります、正直な又正確

なつたんです、愈々村長の改選となつてごたごたしない苦がありませんか？

の揚句が種子異いの村長を祭り上げて終つたんです、村會議員の連中は馬賊を憎み且つ罵つてゐるんです、馬賊は一向平氣なもので之が政治道徳だと空をういてゐるが道徳は笑止しやないやないかゴロツキ屋の手腕の事だらう此の馬賊は矢張り村の議員なんです(憤慨)

磐女の講演會
磐女高等女學校では陸軍紀念日の催しとして九日前午前九時から磐中配屬將校八谷少佐の講演會を開く

田中、本席は私の對支外交意見を詳細に申し度く存じて居りましたが、かく多數の方の御演説もある事であります、それに今朝少しく喉を痛めて居る上、只今宅から電話がかゝつて急に其の方に行かなければならぬ事になりました、甚だ遺憾であります、唯一言御挨拶を申し上げます、唯、失禮いたします

新
柄
着
荷